

第2回定例会

・一般質問②

第2回定例会

・一般質問①

一般質問

4名の議員が一般質問を行いました。
(紙面の都合上、質問と答弁は要約しています)



高橋 紀久 議員

光ファイバー網の整備に伴う 情報通信環境の今後の展開について

【質問】 町の不特定多数の方が利用する公共施設などの公衆無線LANの整備の現況と、今後のそれらの整備に対しどのよう
な考えなのか伺います。

【答弁】(町長)

光ファイバー網の整備により、光通信の格差は正が完了
します。今後は進展を続ける
未来技術にしっかりと対応でき
るよう、町として取り組む必
き役割をしっかりと判断し、
まちづくりへの活用を図って
いこうと考えています。

公共施設や観光地での有意義な利用 公衆無線LAN整備の考えは 町長：Wi-Fi利用目的や要望を勘案し 施設ごとに柔軟に対応する

【質問】 今後の整備は、それぞれの施設
の設置目的と施設利用者のWi-Fiの
利用目的、要望を勘案し、施設ごと
に柔軟に対応していきたいと考
えています。

【答弁】(町長)

今後は整備は、それぞれの施設
の設置目的と施設利用者のWi-Fiの
利用目的、要望を勘案し、施設ごと
に柔軟に対応していきたいと考
えています。

【質問】 5G(第5世代移動通信シ
ステム)の整備は。

【答弁】(企画財政課長)

町からの要請は今のところ
していません。キャリア各社
からの情報も入っていません。

【答弁】(町長) 今必要なのは、現実の環境
下で充実した行政サービスを
いかに実施するかということ
であり、光通信により進化し、
業務が膨らむことも踏まえ、
いかに行政が知恵を絞るかだ
と思っています。

本年度からスマートフォンを
活用した子育て支援アプリ「母
子モ」を導入するなど、様々
な行政サービス向上のために、
今後も情報技術を積極的に活
用していきたいと考えています。

【質問】 デジタルに特化した人材の
育成、課の新設などへの町の
考えを伺います。

【答弁】(町長)

町の情報発信を担当いただ
くなど、特化した人材を採用
していきたいが、特別な新部
署を設けるには至らないの
で、まずは人材確保から進め
ていきたいと考えています。

【質問】 観光で訪れた方が情報発信
の主役になり、自分たちが楽
しみながら、またその町の魅
力を相乗効果の中で発信して
もらうという戦略も考えてい
かなければなりません。

【答弁】(町長)

観光に訪れた方が情報発信
の主役になり、自分たちが楽
しみながら、またその町の魅
力を相乗効果の中で発信して
もらうという戦略も考えてい
かなければなりません。



但木 早苗 議員

国保税の納付回数について

【質問】 国保税の納付回数について
は、4回から6回になり現在に
至っていますが、12月完了とい
う点では変わっていません。

【答弁】(町長)

納付困難な人への納付相談に
も対応している事は十分理解
をしています。納付回数を増
やすことで、年々上がる国
保税をより払いやすくする事
につながるものと考えます。

【質問】 管内でも、北見市の10回を
はじめ、7回、8回、9回など、
6回以上の町があります。

【答弁】(町長)

国保税の収納率は、令和2
年度の実績でも99%と他の市
町村と比較しても高く、納付
困難な方に対しては納税相談

納付者の立場に立って考えてほしい 納付回数を増やすことは出来ないか 町長：納税相談や分納にて対応 現状の納期・納付回数で継続する

【質問】 納付相談などと、回数を増
やす事は別問題と考えます。

【答弁】(町長)

また、収納率を考えて回数
を増やす事はできないという
のではなく、納付者の立場に
立って考えていただきたいと
思うのですが。

【質問】 納付相談など、回数を増
やす事は別問題と考えます。

【答弁】(町長)

できない、やらないとは申
し上げておりません。
この状況を今は注視をした
中で、町民の視点に立った払
いやすい制度という部分も、
当然考えていかなければなら
ないと思っておりますので、ご理解
ください。

西富公住玄関前 通路の舗装について (1号棟～11号棟)

【質問】 この質問は、2014年9
月定例で行っており、その時
の答弁が、「公住の長寿命化
事業が全て終わるまで6年か
かるため、舗装についてはこ
の事業が終わってから路盤の
入替えなど、もう一回新たな
公営住宅の計画変更をかけ、
国の補助を活用しながら舗装
を検討していく」ということ
で今進めている」というもの
がありました。

【答弁】(町長)

長寿命化事業は既に終了し
ており、その計画は現在どの
ような状況になっているかお
伺いします。

【質問】 国や北海道の補助がつか
なければ整備されないという風
に答弁を聞いて思ったのです
が、現在西富公住に入ってい
る方が車椅子で町へ出たりと
いうことはありませんが、デ
ィサービスなどへ行く方など
は車椅子を利用していても
いて、なかなか大変なのです。
それを考えると、町単独で
整備して入居者の安全、安心
を確保していくことも必要
なのではと思うのですが。

【答弁】(町長)

私も実際に建物の前の部分
を見て、敷き砂利とはいえ転
圧もしっかりとされ、地盤も
非常に固く締まっていること
と、雨が降って水溜まりがで
きたり、敷き砂利で足が取ら
れるという状況ではないと確
認をしていますので、定期的
に現場を確認し、要望があれ
ば補修するというご理解
いただければと思います。

第2回定例会

第2回定例会

・一般質問④

・一般質問③



佐藤 昭男 議員

町内主要産業の農業・漁業・商工業者などへの配偶者確保対策について

【質問】

町内では高齢化と人口減少が進み、主要産業においても大きな課題となっています。こうした中で、第2期地域創生総合戦略において今後の出生数の減少への取組として、基本目標3に「結婚、出産、子育ての希望をかなえる」とあり、その目標の施策の中に、「結婚を望む男女の希望をかなえるため、若い世代が交流する機会や出会いの場の創出に努める」とありますが、主要産業である農業、漁業、商工業者などへの配偶者確保のために、町としてどのような施策が打ち出せるのか、アイデアマンであり、発想力豊かな町長の考えをお伺いします。

これからの町を担う若い世代へ
どのような施策が打ち出せるか
町長：若者が持つ斬新なアイデアを
より良い事業に積極的に支援する

【答弁】(町長)

この地域創生総合戦略における目標人口は、令和12年度に3900人を維持するという目標を実現するための施策を示したものであります。配偶者確保対策であります。参加しやすい企画名もシンプルに「さるまちこん」は、これまで6回開催され、男性194名、女性342名が参加をし、この事業がきっかけで5組が結婚されたという聞いております。

【質問】
今後、各団体に予算をつけて企画をお任せするのではなく、町独自でそういった企画を実行することは考えておりませんか。

【答弁】(町長)
町が主催して実行するとなると、なかなか難しいところもあり、今までのように実行委員会を中心となって、色々なアイデアを生かして開催していくのが良いのではないかと考えております。このコロナ禍を契機として、これからはSNS、インターネットを通じて、リサーチなどを行う活用していく方法もあるのではないかと考えており、例えば今までやってきた街コンを「オンライン街コン」として発展させた事業として実行委員会に提案できるのではないかと考えております。

さらに、地域おこし協力隊を来年度から導入する予定であり、町のPR事業などもしていただくというところで、私たちが持ち合わせていない斬新なアイデアを生かし、



配偶者確保対策を含めた人口減少問題の克服に向けて取り組んでいきたいと考えております。
また、男女の出会いということであれば、最近では職域を超えた中で若者の交流も、町の中では少なくなっていると思っております。
そのような中で、この2年間ほど中止となっている「シンデレラまつり」の実行委員会は、町内各団体が助成をして運営をしていますが、町内出身者であったり、町外出身者で「4月からこの事業所に新人が配属になったよ」というような情報から声かけ、勧誘するなど、職域を越えた活動の支援もあり、そこで「まちづくり」というテーマの中で、若者が町のために力を合わせていくという思いが繋がることもあると思いますので、町としては積極的に支援をしていきたいと思っております。



三田 真美 議員

コロナ禍における子ども達の生活環境について

【質問】

長引くコロナ禍で、子ども達は学校の行事、少年団活動、部活動等が制限され、大人以上のストレスを抱えています。また、近年での家庭内DV、いじめや不登校などの事案には、心のケアが必要だと思いますが、本町での状況と対応についてお伺いします。

【答弁】(教育長)

コロナ禍の長期化で、学校での生活環境が変化し、子ども達の心身の健康が低下傾向にある可能性が指摘されている中、学校の行事は、感染対策を講じながら工夫を凝らし、何とか子供達の活動の場をつくろうと対応しています。また、家庭内DV、いじめ、不登校、虐待などの問題は、

子ども達に寄り添った
教育が必要では
教育長：心のケアと
確かな学びを保障したい

【質問】

関係機関と連携して対応することとしており、不登校の子供には、学校からの健康確認、プリント課題の提供、保護者との対話をし、教育においては教育相談員、スクールカウンセラーを配置し、専門家の視点から児童生徒、保護者に寄り添った話し合いがされております。

【質問】

道内でも自主休校という形で学校に行かない児童生徒がいますが、今後そういった事例やコロナによるリモート授業となった場合、どのようにフォローするかお伺いします。

【答弁】(教育長)

今のところ、本町の学校では感染が不安で休ませたいという相談は無く、道教委で作

今後のコロナワクチン接種について

【質問】

国が推奨する11月までに希望者へのワクチン接種を完了できるのか、また、接種枠を12歳からとする考えがあるのかお伺いします。

【答弁】(町長)

現在計画の予定では、接種を希望する町民全ての方が、2回目の接種を終えるのを、10月下旬と見込んでいます。また、12歳からの接種について、国の指針では15歳以下の接種は、保護者の同意と個別接種が基本とされていますので、近隣自治体との情報共有を密にし、関係機関との協議を進める事としています。

【質問】

平日に接種に行けない方のために、月に1回でも土日に

高齢者が利用する公共施設について

【質問】

ここ数年、熱中症対策として各公共施設へのエアコン整備が進んでいます。

【答弁】(町長)

高齢者へのワクチン接種が順調に進んでいる状況を見ると、エアコン未設置である老人福祉センターなどの利用者が増加すると思われれますが、エアコンの設置は考えているのかお伺いします。

【答弁】(町長)

高齢者の活動拠点となっている老人福祉センターでは、現状として利用者からの要望は聞いておりませんが、今後エアコン未設置の公共施設において、利用者の声も聞きながら、設置計画を進めていきたいと考えております。